

第 85 回天皇誕生日祝賀レセプション大使挨拶
(シェラトンホテル、12 月 4 日)

ファム・ミン・チン 政治局員・党中央組織委員長、越日友好議連会長
マイ・ティエン・ズン 政府官房長官、党中央委員
地方政府の指導者の皆様、
各国大使及び外交団の同僚の皆さん
御列席の皆様、

●日本政府を代表し、天皇誕生日祝賀レセプションに沢山の方に参加いただいていることに心から感謝申し上げますとともに、一言ご挨拶申し上げます。

●日越外交関係樹立 45 周年の今年、天皇陛下は、12 月 23 日に 85 才になられます。また、現在の天皇は、来年 4 月 30 日に御退位され、新天皇は、5 月 1 日に御即位されます。従って、現在の天皇陛下の誕生日を祝うレセプションは、今回が最後となります。

●昨年、天皇皇后両陛下は初めてベトナムを御訪問されました。両陛下は、今年もベトナムとの関係を大変重視し、様々な配慮をいただきました。両陛下とベトナムについて今年一年を振り返ってみたいと思います。

●1 月 1 日、天皇皇后両陛下はベトナムに関する和歌を発表されました。天皇陛下は、「戦（いくさ）の日々人らは如何に過ごせしかと思いつつ訪（と）ふベトナムの国」、皇后陛下は、「『父の国』日本を語る人ら住む遠きベトナムを訪（おとな）ひ来たり」と詠まれました。

●5 月、チャン・ダイ・クアン国家主席御夫妻が国賓として日本を訪問されました。この御訪問は、45 周年の最重要行事であり、特に、明治記念館で行われたベトナム側主催の 45 周年記念レセプションは天皇皇后両陛下、クアン国家主席御夫妻を含む 1000 人以上が参加される特別な行事となりました。訪問期間中、両陛下のベトナム重視の姿勢、クアン国家主席御夫妻に対する温かいお気持ち、御配慮が随所に感じられました。

●7 月、先ほど国歌を演奏いただいた、本名徹次指揮者率いるベトナム交響楽

団（VNSO）が、45周年を記念して、大阪と東京でコンサートを行いました。両陛下は東京でVNSOの演奏を楽しむと共に、楽団員の皆さんを励まされました。

●10月、天皇陛下は、日メコン首脳会議で訪日したフック首相と皇居で懇談されました。また、ベトナムでは、皇后陛下の著書『橋をかける：子供時代の読書の思い出』の越語訳出版会が開催されました。皇后陛下は、「子供時代の読書は、ある時は私に根っこを与え、ある時は私に翼をくれました」と書かれています。越語版出版に際しては、モア・プロダクションの勝恵美さん、レ・ティ・トウ・ヒエンさんが音頭を取り、翻訳は、ファム・レ・ファイ・ハノイ国家大学専任講師が中心になって行われました。

●11月、両陛下は静岡県袋井市の常林寺を御訪問されました。今年は、東遊（ドンズー）運動を推進したファン・ボイ・チャウ氏が、医師浅羽佐喜太郎の友情・支援に感謝を示すために、石碑を常林寺に建立して百周年となります。地元の浅羽会の皆さんが、両陛下を歓迎されました。

●ちなみに、両陛下にとって、昨年のベトナム訪問は、最後の外国訪問となる可能性が高く、また、同時に、両陛下が最後にお迎えになる外国国賓はベトナムのクアン国家主席御夫妻になる可能性が非常に高いです。このことは、両陛下がベトナムを重視しているかを示しているものと考えます。

●以上が、今年の両陛下のベトナムに関わる主な動向です。

●皆様。「外交関係樹立45周年関連事業」は、一年を通じ日越両国で230以上開催されました。ハノイで9月から11月にかけて開催された特筆すべき事業をいくつか紹介させていただきます。

●NHK交響楽団が初のベトナム公演を実現し、チャン・ダイ・クアン国家主席御夫妻も演奏を楽しまれました。

●杉良太郎特別大使とベトナム国営放送が日越友好音楽祭を共催し、日越両国の歌手が共演しました。ファム・ミン・チン越日友好議連会長、トー・ラム公安大臣が来場されました。

●越日友好協会（トー・フィ・ルア会長）主催 45 周年レセプションには、多数の党幹部、閣僚に出席いただき、改めて日越間の友情の広がりを感じる機会となりました。

●以上に加え、コシノ・ジュンコ・ファッションショー、裏千家大宗匠による平和祈念献茶式・和合の茶会、ベトナム婦人連合会主催「Mottainai 2018」、ベトナム公安省・毎日新聞社などの共催による「交通安全ベトナム絆駅伝」をはじめとする素晴らしい多くの行事が、一年を通じ間断なく開催されました。これらの行事は、ベトナム日本商工会議所の寄付のおかげで実現できたものです。行事開催に御尽力いただいた全ての皆様に心より感謝を申し上げます。

●皆様。今年、大変残念なことに、日越関係強化に多大なご貢献をいただいた 3 名の方が逝去されました。ファン・ファイ・レ元ベトナム歴史学会会長、クアン前国家主席、ドー・ムオイ元書記長です。

●ファン・ファイ・レ元会長のご遺族には、河野外務大臣の感謝状をお届けしました。

●クアン前国家主席の国葬には、安倍総理特使として二階 自民党幹事長・日越友好議連会長はじめ 4 名の方が日本から駆けつけました。

●ドー・ムオイ元書記長には、長年の御貢献に感謝し、日本政府は「旭日大綬章」の叙勲を決定しており、後ほど、ご家族に勲章を伝達させていただきます。

●皆様。日越両国は、多くの戦略的利益を共有しています。日本は、ベトナムの更なる発展は、東アジア地域全体の安定と発展にとって、とても重要であると認識しています。日本はベトナムの「広範な戦略的パートナー」として、政治・安全保障、経済、文化・スポーツ等全ての分野において、ベトナムとの連携を強化していきたいと考えています。

●CPTPP の発効は、日越両国に経済的利益をもたらすのみならず、両国の「戦略的絆」を深めました。

●2020年には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。私は、サッカーをはじめ、出来るだけ多くのベトナム人選手の参加を期待しています。

●また、先般、2025年大阪万博開催が決定されました。ベトナムの多くの方からお祝いの言葉をいただき、感謝いたします。

●皆様。現在の良好な日越関係は、長年にわたる両国の歴代指導者のリーダーシップと国民間の友情の賜物です。今のこの時代を生きる我々は、この良好な関係を一層強固にして、次の世代に引き継ぐ責任があると考えます。

●この一年の皆様の御支援に改めて感謝を申し上げますとともに、様々な課題克服に向けて皆様の御協力を引き続き宜しくお願い申し上げます。

●なお、本日のレセプションを盛り上げるために、8企業（トヨタ・モーター・ベトナム、ホンダ・ベトナム、キャノン・ベトナム、サッポロビール・ベトナム、フエ・フーズ、モア・プロダクション、エースコック・ベトナム、マヤ・グローバル）、3つの地方自治体（宮城県、茨城県、岐阜県）、JNTOの御協力を得ております。ご協力をいただきました皆様、ありがとうございます。

●最後に、天皇皇后両陛下並びに皆様の御健勝、日越関係の一層の発展を祈念し、私の挨拶と致します。ご清聴、ありがとうございました。（了）